

抜海駅



東滝川駅



東根室駅



## 高校バス移行で命運尽く

JR北海道は4月1日から平均7・6%の値上げを実施した。同社の運賃改定は5年ぶり。昨今、あらゆるものが高騰しており、値上げ自体は仕方がないともいえるが、それに見合うサービスの向上を実感している利用者は少ないだろう。特に地方の場合、「自分たちは見捨てられようとしている」との思いが強いに違いない。実際、3月15日のダイヤ改正では、またしても列車が減便され、5つの駅が消えた。このなかには全国的な知名度を誇り、ファンの訪問が多かった「東根室」「抜海」も含まれており、地元から聞こえてくるのは「無念」「怒り」「諦め」の声ばかりだ。

(フリーライター・内海 達志)

が押し寄せた。

筆者は「さよならフ

イーバー」を避けて両

駅を訪問したのだが、

それでも車内を埋める

のは、ほとんどがファ

ンであり、改めて両駅

の人気を実感した。違

った視点でみれば、そ

れだけ地元客が少ない

ということでもあるの

# 駅め

# この春、消えた観光資源、地元の「無念」「怒り」「諦め」

だが、1961(昭和36)

年開業の東根室駅は、

長らく根室高校に通う

生徒の足を担ってきた。

高校がある限り、JR

の廃止基準(1日の乗

降客数3人以下)を下

回る可能性は低く安泰

と思われていたのだが、

根室市は24年度から18

歳以下のバス利用を無

償化。最寄り駅とはい

え、駅と高校の間は1・

5キロと離れており、市

が23年4月に実証実験

運行を開始したバス路

線は校門の前に停車す

るため、バスの優位は

揺るぎなく、駅が存在

意義が失われてしまっ

たのである。

後述する抜海駅とは

異なり、東根室は駅舎

もなく、駅前風景も平

凡な住宅地が広がるば



根室駅方面へのバス停



▲ファンに配布していた到着証明書

この男性は、先に抜海を訪れたそうで「東根室駅はやむを得ないと

も思います、抜海駅

は絶対に残すべきと強

く感じました」とも。

## 幌倉の歴史 伝える東滝川駅

あまり話題にはならなかつたが、東滝川駅についても触れておこ

この男性は、先に抜海を訪れたそうで「東根室駅はやむを得ないと

も思います、抜海駅

は絶対に残すべきと強

く感じました」とも。

幌倉地区は明治以降に屯田兵用地になり、解散後は6戸が入植して開拓に奮闘した。また、のちの道立畜産試験場である農商務省滝川種羊場が設置され、羊が遊ぶのどかな牧歌



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を  
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから  
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

**TEL 011-644-0101**

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)